

家庭基礎

教科名	家庭	単位数	2単位	学科・学年	普通科 2年
教科書名	家庭基礎 自立・共生・創造			出版社名	東京書籍
副教材等	なし			出版社名	なし
科目目標	人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。				
到達目標 (検定目標)	家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中で総合的にとらえ、学習した知識や技術を実生活に活かして、各自の問題を解決し、よりよい生活を工夫する能力として定着させる。男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力と、実践的な態度を育成する。				
成績評価	定期考査、課題・レポートの提出、授業態度などをもとに、評価の観点により総合的に評価します。				
評価規準	関：関心・意欲・態度 思：思考・判断 技：技能・表現 知：知識・理解				

授 業 計 画

月	授 業 内 容	授 業 目 標	評価の観点			
			関	思	技	知
4	家庭基礎の学び方 自分らしい人生を作る 生涯発達の視点 青年期の課題	<ul style="list-style-type: none"> 家庭科で何を学び、どのような学習活動をしていくのかを知る。 各ライフステージの特徴と課題を理解する。 生涯発達の観点から今の自分を客観的に見つめ、職業選択も見通す。 	●	●	●	●
5	目標を持って生きる 人生をつくる 家族・家庭を見つめる	<ul style="list-style-type: none"> 固定的な性別役割分業意識を見直し、男女が相互に協力して家庭を築き、家族関係をつくる必要性を学ぶ。 家族・家庭に関する基礎的な法律を学習し、現在の動きを知る。 	●	●	●	●
6	これからの家庭生活と社会 子どもと共に育つ 子どもの育つ力を知る	<ul style="list-style-type: none"> 家事労働・職業労働について知り、ワーク・ライフ・バランスについて考える。 子どもの育つ力と発達段階を知る。 人生の初期における親・家族や周囲の人々の関わりの大切さを学ぶ。 	●	●	●	●
7	親として共に育つ 子供との触れ合いから学ぶ これからの保育環境	<ul style="list-style-type: none"> 遊び、基本的な生活習慣の形成、食事、健康管理について学ぶ。 子どもとの触れ合いを通して、愛着の形成と親としての成長を理解する。 子どもを取りまく社会変化の現状について理解し、考える。 児童福祉の理念を理解し、子育て支援の現状を学ぶ。 	●	●	●	●

9	高齢社会を生きる 高齢期を理解する 高齢者の心身の特徴 これからの高齢社会	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会の現状と課題を理解する。 ・高齢期の心身の変化や特徴，個人差が大きいことを理解する。 ・身近な高齢者との触れ合いの機会を探す。 ・高齢者に関する福祉について学び，高齢者を支える制度と課題を考える 	●	●	●	●
10	共に生き、共に支える 私たちの生活と福祉 共に生きる 社会保障の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・一生を通じた福祉や社会的支援の必要性を知る。 ・多様な人々のニーズ，ノーマライゼーションの理念を理解し，ユニバーサルデザインを具体的に考える。 ・社会保障制度の理念と内容を学ぶ。 	●	●	●	●
11	食生活をつくる 食生活について考える 食事と栄養・食品	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の食生活を振り返る。 ・日常的な食品の栄養的特質や調理上の性質について科学的に理解する。 ・日本人の食事摂取基準や食品群別摂取量の目安を知り，自分や家族に当てはめる。 	●	●	●	●
12	食生活の安全と衛生 生涯の健康を見通した食事計画 調理の基礎 これからの食生活	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の選択や調理の際の安全に関する必要事項を学ぶ。 ・青年期の食事の重要性を理解し，各ライフステージの栄養的特徴を知る。 ・基本的な調理技術を学び，日常食を作れるようになる。 ・食生活の変化や問題点を知り，環境や食料自給率の問題を考え，生涯を通じて健康で安全な食生活が営めるようになる。 	●	●	●	●
1	衣生活をつくる 被服の役割を考える 被服を入手する 被服を管理する これからの衣生活 布を用いた生活の知恵	<ul style="list-style-type: none"> ・被服のさまざまな役割を整理する。 ・被服材料の特徴を理解し，組成表示・取り扱い表示・サイズ表示などの意味が分かる。 ・汚れ落ちの仕組みを理解し，被服に適した洗濯や保管方法を知る。 ・生涯を通じて健康で安全な衣生活が営めるようになる。 ・布を使った生活の工夫を知る。 	●	●	●	●
2	住生活をつくる 住生活について考える 住生活の計画と選択 これからの住生活	<ul style="list-style-type: none"> ・住居の機能や間取りの基礎知識を学ぶ。 ・ライフステージに合った住居を考える。 ・住居を選ぶ際，室内外の環境に着目し，安全性・快適性等を考慮する必要性を学ぶ。 ・バリアフリーの考え方を理解し身につける。 ・住環境における地域社会とのつながりの重要性を理解し，持続可能な住生活とは何か考える。 	●	●	●	●
3	経済生活を営む 職業生活を設計する 生活を設計する 生涯を見通す 学習のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的自立と職業について主体的に考える必要性を理解する。 ・生活の基盤となる家計管理の重要性を認識しライフステージごとのポイントを知る。 ・今までの学習を踏まえ，キャリアの視点から生涯の生活設計に必要な要素をまとめる。 ・自分の目指すライフスタイルを考え，高校卒業後の生活設計を立てる。 	●	●	●	●

【履修上の注意およびワンポイントアドバイス】

- ・教科書・ノートを忘れないようにし、毎時間集中して授業を受けましょう。
- ・必要な知識を理解しているか、学期ごとの考査で確認します。
- ・提出物はきちんと期限内に提出しましょう。